

ちいさな証

神様はいつも私の近くに

島 延之

スイス日本語福音キリスト教会



私は今から51年前に日本から、船、汽車、飛行機に乗りモスクワ経由でドイツに来ました。日本ではピアノやチェンバロを作る会社で働いていましたので、いつかは本場のドイツで昔からの伝統的なピアノ作りを勉強したいと思っていました。幸運にも働く所や専門職業学校も見つかりドイツに住む様になりました。Meisterschuleでは将来、私の妻になる人と出会い3年後には結婚しました。私達は2人の男の子に恵まれ、長男YUKIOは日本人と結婚をし、3人の子供に恵まれ、次男YAMATOはドイツ人と結婚し2人の子供に恵まれました。

4年近く前に原さんご夫妻から聖書を一緒に読んでみませんか？と声がかかりました。スカイプでやるので、どこにも行かないで自宅で読めます。ああ、それなら出来るかも知れないと思い、「はい、よろしくお願いします。」と。

初めの一回目は、2019年2月初め、原さん宅でスカイプの使い方から教えてもらい、私はまだ自分の聖書を持っていなかったのですが憲二さんの分厚い聖書を借りました。それは、私が読む初めての聖書でした。その日から憲二さん、しのぶさん、チェコの閑恵さん達と一緒にデボーションが始まりました。聖書の中の創世記1章から読みましたが、とても理解しにくい箇所が沢山ありました。しかし優しい兄姉たちに説明してもらい、また、支えてもらいながら学んでいきました。

憲二さん、しのぶさん、閑恵さん、千恵子さん達は、毎週火曜日の朝6時から、“みことばの光”を使ってデボーションを始めていました。そのグループに入れるようになったのは私が聖書を読み始めてから7か月後のことでした。千恵子さんはとても明るい方でポジティブな心をもって聖書を読んでおられ、彼女は召される直前まで私たちと一緒にデボーションをしてくださいました。彼女と共にデボーションが出来たことは本当に感謝です。すばらしいクリスチャンの姿を見せて頂きました。神様、ありがとうございました。

そして昨年の9月に48年間いつも一緒に暮らしていた最愛の妻が亡くなりました。突然なことで私は何も手につかず落ち込んでしまった日々でした。その時は長男の家族、次男の家族たちが来て、いろいろな事で私を支え助けてくれました。このような私の家族を与えて下さった神様に感謝します。何日か後にデボーショングループのみなさんが来てくださって妻の墓の前で賛美歌を歌い、お祈りしてくださいました。

また、教会に行くと教会の皆さんが私のために、お祈りと励ましのカードを下さいました。その日は私の近くで神様が声をかけて励まして下さったと思いました。家に帰り神様に賛美を

し感謝でいっぱいでした。「ありがとうございます。」とお祈りしました。次の朝から毎日声を出して神様にお祈りが出来るようになり、今まで言えなかった私の悩みや、生前妻が望んでいたのに、やってあげられなかった事、昔あったいろいろなことなどを想い出しました。それは、私の罪の告白でした。

私はもう20年近く前に原さんご夫妻から家庭集會に誘われました。その時は、今忙しいので、と断りました。その後、何回となく誘って下さったのですが、いつも断っていました。それは今思えば忙しいことを理由に私は神様との関係を拒否していたんです。私は自分に罪のあることが分かりました。「神様、どうぞ、私をお赦しください。」とお祈り出来るようになりました。その後、だんだんと私の心が癒されるようになってきているように思いました。私は今、神様に愛されていると気づきました。神様はいつも私の近くにいてくださいました。

そのような事を考え、もう少し前に進みたく思い、私は洗礼を受けるだけの人間になっているかどうか分からなかったので、日曜礼拝に行く車の中で洗礼のことを憲二さんに聞いてみました。彼はマイヤー先生に一度、話してみたら？と言われ、礼拝の後でマイヤー先生にお話ししました。



マイヤー先生のおかげで今年の4月初めから“基礎の学び”を佐々木さん、磯村さんと2週ごとに一回スカイプで学ぶことが出来る様になりました。マイヤー先生は、一つ一つ丁寧に実に奥深く教えて下さいました。マイヤー先生が私に沢山の時間を割いて下さり、感謝の気持ちでいっぱいです。そして、一緒に学んで下さいました。佐々木さん、磯村さん、ありがとうございました。我がデボーショングループの人たちと共に4年間続けてみことばを通して神様のことを学ぶことが出来ました。

このように神様が、私を愛し導いて下さったことを感謝します。コリント人への手紙第一、15章3、4節ではパウロは次のように書いています。『私があなたがたに最も大切なこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。キリストは、聖書に書いてあるとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、また、葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりに、三日目によみがえられたこと』と書かれています。

私はここで宣言します。イエス・キリストは聖い方で正しい方で愛の方です。私は罪びとです。イエス・キリストの十字架の死は、私の身代わりでした。三日目にイエス・キリストはよみがえりました。私はそのことを信じます。イエス・キリストを私の主として、救い主として受け入れます。このように導く先生や友を与えて下さった神様に感謝します。

私は神の子供として、まことの羊飼である主イエス・キリストの御霊に導かれて義を、永遠のいのちの道を歩んでいけるようにと願います。“すべてを主イエス・キリストにゆだねて”アーメン